

俳句と川柳

どこが違うの？

「山月記」の中で印象深かった内容を
五七五で表してみよう

長句（575）と
短句（77）を交互に
付けていく

1 ままの、元の形が…

俳句も川柳も、鎌倉から江戸初期にかけて流行した「連歌」がその原点。

「連歌」は高い教養を必要としたが、室町末期には「滑稽さ」が加わり、またそれまでの規則が緩められ、一般庶民の間でも楽しめるようになった。

さらに江戸に入り、連歌から「五七五」のみを独立した形で詠むものが誕生。これが「俳句」や「川柳」に発展する。

俳句…明治に入り、俳句革新運動の先駆けとなった正岡子規により成立
川柳…江戸中期から詠まれ、明治以降その句風は、きわめて多様化

2 両者の違いは…

	俳句	川柳
季語の有無	必須	基本的に不要
作品のモチーフ	個人的な心情・思索	個人的な心情・思索 風刺も含め、人間模様・人間社会
言葉	文語体が主流	現代仮名遣いで口語体が主流
表現の特徴	風景や物事を描写	物事をユーモア・穿ち・軽みで表現

川柳の3要素

〈ユーモア〉 うれしさ、おかしさ、照れくささ、
馬鹿にした気持ち、究極のかなしみ、など
〈穿ち〉 物事や人情の核心にふれること
〈軽み〉 軽やかで、気が利いていること

3 印象に残った場面を五七五に表してみよう